

令和6年度一般入学試験(後期) 小論文

問題1

日本の農林業では、担い手の減少・高齢化の進行により労働力不足が問題視されています。次のグラフは、全国の農業就業人口の年齢構成と規模別の経営耕地面積の集積割合を示したものです。これらを見てあなたが感じたことをまとめるとともに、これからどのように農林業に関わっていきたいかを400字程度で記述しなさい。

- 農業就業人口 414万人(1995年) → 210万人(2015年)

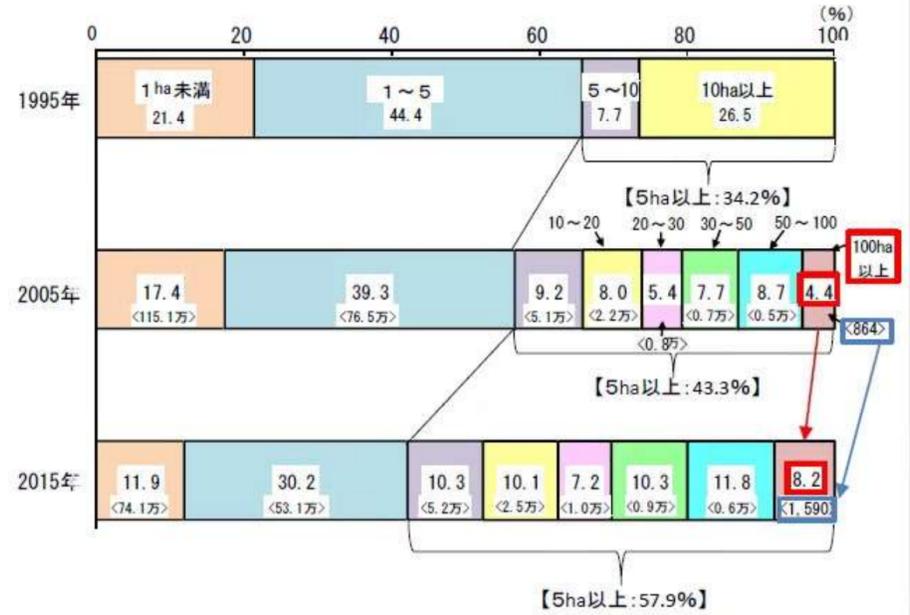
農業就業人口の年齢構成(2015年)



農業就業人口: 15歳以上の農業世帯員のうち、調査期日前1年間に農業のみに従事した者又は農業と兼業の双方に従事したが、農業の従事日数の方が多い者。

- 1経営体当たりの平均経営耕地面積も着実に拡大。(1995年1.6ha→2015年2.5ha)

規模別の経営耕地面積の集積割合



問題2

問題1で示された問題や技術革新を実現するために「スマート農業・スマート林業」に取り組む経営者や地域が増えてきています。次の語句はそのような技術革新を実現するために開発、実用化されている機械や技術の一部です。これらの語句の中からひとつ以上選んであなたが取り組んでみたいと思うスマート農業・スマート林業の姿を400字程度で記述しなさい。

(注) 「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。
「スマート林業」とは、「地理空間情報やICT、ロボット等の先端技術を活用し、森林施業の効率化・省力化や需要に応じた木材生産を可能とする林業」のこと。

農業用アシストスーツ

農林業用ドローン

無人草刈りロボット

トマト収穫ロボット

3DモデルやVRを活用した管理技術の習得

ビッグデータとAIを活用した病害虫の早期診断技術

自動運転田植え機

自動走行トラクター

作物の成長にあわせ、灌水・施肥を自動実行す